

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階視聴覚室

(オーナー／担当者：中村 道彦)



(コメント)

シリーズの2回目ということですが、図書館から外に出て行うブックフェスタが、とても新鮮でした。

こうして、特に「本と関連がある」わけでもないことでも、図書館で行えるのはありがたいです。

晴れて良かったです (笑)



開催したイベント

4/23 (土) 10:00 ~ 12:00

「スマホで市役所をカッコ良く撮る会」

来館者 (概数)

イベント参加：8人

紹介された本

「いきなり動画の達人になる本」	伊藤 正治/著	(言視舎)
「おいしいかわいい料理写真の撮り方」	佐藤 朗/著	(イカロス出版)
「思い出をデジタル化して永久保存する本」		(洋泉社)
「カッコいい写真が撮れる 100 のレシピ」		(学研プラス)
「かんたん! たのしい! 写真レッスン」	日経 PC ビギナーズ/編	(日経 BP 社)
「ステキに魅せる写真ワザ」	今井 しのぶ/著	(エムディエヌコー)
「スマホで超カンタン特撮」	Tac 宮本/著	(誠文堂新光社)
「まるごとわかる! 撮り方ブック」	山崎 理佳/著	(日東書院本社)
「我が子を世界一かわいく撮る方法」	ロイヤルセラピスト協会	(合同出版)

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】八木市民センター

(オーナー/担当者：杉原 富人)



(コメント)：

鎌倉時代の久米田寺「再興の祖」とされる北条時頼の御内人・安東蓮聖(あんどう・れんしょう)の役割に焦点を当て次の3つの視点から話題提供した。

その後、出席者の方々と議論することを目的とした。

1-1). 何故、安東蓮聖は久米田寺を「再興」したのか？

1-2). 何故、安東蓮聖は西大寺僧・叡尊(えいそん)を落慶法要の導師としたのか？

1-3). いかにして、何によって、学山(華嚴・律・真言宗の共学道場)久米田寺になったのか？

●話題提供後、出席者全員が本報告に関する感想・意見、および安東蓮聖が久米田寺の「再興」に果たした役割に関する見解を出し、交流した。

○次回のテーマは「久米田寺・池と行基」を企画予定です。

開催したイベント

4/24(日) 10:00 ~ 12:00

「歴史カフェ ~鎌倉時代の久米田寺」

来館者(概数)

イベント参加：15人

紹介された本：

- 1). 『久米田寺の歴史と美術-仏画と中世文書を中心に』(岸和田市郷土資料, 1999年10月2日発行)
- 2). 『岸和田市史第2巻』(岸和田市史編さん委員会編集, 岸和田市, 1996年3月31日発行)
- 3). 松尾剛次「行基信仰と叡尊教団」(『中外日報』, 2018/9/12)
- 4). 有形文化財(古文書)久米田寺文書「指定調書」(大阪府教育委員会, 2019/3/22)
- 5). 『荘園-壱田永年私財法から応仁の乱まで』(伊藤俊一著, 中公新書, 2021/9/25発行)
- 6). 『泉州久米田寺文書』(戸田芳実編, 岸和田市, 1973年3月発行)
- 7). 納富常天「泉州久米多寺について」(『金沢文庫資料の研究 稀覯資料篇』法蔵館, 1995年, 初出1970年)
- 8). 横内裕人「久米田寺の唐人-宋人書生と真言律宗」(西山美香編『東アジアを結ぶモノ・場』勉成出版, 2010年)



ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】山直市民センター

(オーナー/担当者：松本 賢)



(コメント)

令和3年度2月～3月に計7回連続講座として開催された「動画クリエイター講座」受講生の振返りの場と、関心のある方の集まる場として開催しました。

ビデオ撮影をされているクラブの方や、動画配信を始めたばかりの方も参加され、受講生の皆さんの作品発表に興味深く聞いておられました。

本日の撮影もビデオで撮影していただき、テレビ岸和田でも今日の取り組みの様子を放送していただくというご縁ができました。

開催したイベント

4/30 (土) 10:00 ~ 12:00

「あつまれ 動画クリエイター」

来館者(概数)

イベント参加： 13人

紹介された本

「動画でわかるカット割りの教科書」 藍河 兼一/著 玄光社

「今すぐ使えるかんたんビデオ編集&DVD作り」リンクアップ/著 技術評論社

「動画制作プロの仕掛け 52」鎮目 博道/著 日本実業出版

「動画配信のためのゼロから分かるPremiere Pro」八木 重和/著 秀和システム

「動画編集&DVD作成プロ技BESTセレクション」山本 浩司/著 技術評論社

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階視聴覚室

(オーナー／担当者：七野 司氏/市立図書館)



(コメント)

七野さん持参の本の紹介をしていただいた後、新しい図書館になったらやりたいこと、今だったらできるんじゃないかなと思うこと、今までの図書館サービスではなかったがこんなことできるんじゃないかということなどを2つのグループに分かれて意見交換をしました。

図書館をより良いものにしたいと、熱く意見交換がなされました。

新しい図書館あり方についての情報をインプットするため、希望者で行く図書館の視察先を決めて終了となりました。

開催したイベント

5/1 (日) 14:00 ~ 16:00

「マジミエ図書館Z みらいLABO さあ！始めましょう♪」

来館者(概数)

イベント参加： 23人



紹介された本

『私たち図書館やっています!』 本と人とをつなぐ「そらまめの会」／編著 鹿児島：南方新社

『つながる図書館』 猪谷 千香／著 東京：筑摩書房

『図書館・まち育て・デモクラシー』 嶋田 学／著 東京：青弓社

『図書館の明日をひらく』 菅原 峻／著 東京：晶文社

『はなぼん』 花井 裕一郎／著 小布施町(長野県)：文屋

『沸騰!図書館』 樋渡 啓祐／[著] 東京：KADOKAWA

『ブックフェスタ』 磯井 純充／[ほか]著 大阪：まちライブラリー

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階視聴覚室

(オーナー/担当者：中村 道彦)



(コメント)

私、中村が個人的に「どうしてもやりたい」というイベントでした。

参加者の皆さんを置いてけぼりにしているのかも心配しましたが、楽しかったという意見を頂けたので、とても嬉しかったです。

自らが楽しむことでまわりが楽しくなる、ブックフェスタの特徴を体験できて、とても良かったです。



開催したイベント

5/7 (土) 10:00 ~ 12:00

「ブックタイトル ライマーズパーティ」

来館者 (概数)

イベント参加： 6人

紹介された本

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------------|-------|--------------|
| 「阪急電車」 | 有川 浩/著 (幻冬舎) | 「半落ち」 | 横山秀夫/著 (講談社) |
| 「稼ぐAI」 | 中西 崇文/著 (朝日新聞出版) | | |
| 「科学する心」 | 岩男 壽美子/編 (日刊工業新聞社) | | |
| 「たのしい言語学」 | 町田 健/著 (ソフトバンクパブリッシング) | | |
| 「音声の科学」 | ジャクリーヌ・ヴェシエール/著 (白水社) | | |
| 「ヴァン・ショーをあなたに」 | 近藤 史恵/著 (東京創元社) | | |
| 「かこさとし 子どもと遊び、子どもに学ぶ」 | (平凡社) | | |
| 「面白くて眠れなくなる生物学」 | 長谷川 英祐/著 (PHP エディスタース・グループ) | | |
| 「笑う人には福来たる」 | 高橋 恵/著 (文響社) | | |
| 「地図を片手に「歩く旅」」 | 山浦 正昭/著 (日本放送出版協会) | | |
| 「ロッキード秘録」 | 坂上 遼/著 (講談社) | | |
| 「漢詩のレッスン」 | 川合 康三/著 (岩波書店) | | |



ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】山直市民センター

(オーナー／担当者：藤田)



開催したイベント

5/14 (土) 10:00 ~ 12:00

「古民家活用でつながろう！」

来館者 (概数)

イベント参加：14人

紹介された本

「セルフリノベーションの教科書 Premium」 坂田 夏水/著 誠文堂新光社

「人生の夕凧」 岸本 葉子/著 双葉社

「今、泊まりたい！棟貸しの宿 100」 JTB パブリッシング

「カフェ、はじめます」 岸本 葉子/著 中央公論新社

「ちょっと田舎で暮らしてみたら」 能勢 健生/著 新潮社

「古民家生活術」 平凡社

「VINTAGE HOME」 エクスナレッジ

「店にレトロの風情あり」 千石 涼太郎/写真 北海道新聞社

「地域再生滋賀の挑戦」 近江環人地域再生学座/編 新評論

「ニッポンの手仕事」 井上 雅義/写真と文 日経BP社

(コメント)

古民家活用をテーマに、関心のある方が集まり、木組みの組手のワークショップから始まり、その後、自然な流れで古民家をキーワードに地域再生、色々な資源、ネットワークの活用法、古民家再生に関わる現状と課題についてなどいろいろな話が繰り広げられました。

ハードルが高い部分もあるけれど、出来ることから取り組んでいきましょうと、その場で次の集まる日が決まりました。

次回は6月21日(火)古民家カフェ 猿とモルターレさんで開催されます。



ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階自習室

(オーナー／担当者：領家 誠)

(コメント)

お堀で一箱古本市は、人と人が繋がる場になればと考えて提案されたイベントです。不要な本を持ち寄るといいうよりは、次の人に読んで欲しい本を一箱に集めてもらい、本をきっかけに交流が生まれる場になることを期待しています。100周年に100名の方が参加してくださるのを目指します。

また、参加型の図書館のあり方を市民の方にも知ってもらえるきっかけとなり、まちライブラリーにも繋がっていくことも期待しています。

一箱古本市で使用する箱を作るワークショップも計画中です。

お城図書館では、展示をしっかりと準備し、それを読んでいただける場にできればと計画中です。展示だけですが、皆さんにお城が図書館だった頃の情報をいろいろ探していただき、いい展示ができればと考えています。



開催したイベント

5/15 (日) 14:00 ~ 15:00

「今から準備！市制施行100周年記念事業 お堀で一箱古本市&お城図書館2日間限りの復活イベントを盛り上げよう♪」

来館者(概数)

イベント参加： 27人

紹介された本

「古本の雑誌」 本の雑誌編集部／編 本の雑誌社

「一箱古本市の歩きかた」 南陀楼綾繁／著 光文社

「ヒトハコ 創刊号(2016年秋)」 書肆ヒトハコ



ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階自習室

(オーナー／担当者：岸和田市立図書館)



(コメント)

100周年は、新しい図書館のキックオフの年にしたいと考えています。これからの図書館に求められているものは何かを考えていく中で、5年前にまちライブラリーというキーワードが出てきました。また、図書館ではブックフェスタも行われています。こちらは1人でも参加できる、個人がやりたい企画を図書館に持込んでやるイベントです。

この2つのキーワードについて、磯井さん、領家さん、富田さん、七野さんにお話をいただきました。

図書館で23年続く図書館まつり実行委員会の方々や、友の会の方、また、いつも図書館をご利用いただいているの方々などたくさんの方にご参加いただきました。

開催したイベント

5/15(日) 15:10 ~ 17:00

「岸和田流まちライブラリーと公共図書館のデザイン ～実践から考えよう～」

来館者(概数)

イベント参加： 29人

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】蜻蛉池公園

(オーナー／担当者：富田 健介)



(コメント)

蜻蛉池公園で開催された「ローズフェア 2022」に合わせて開催させて頂きました。「まちライブラリー@岸和田としょかん」さんのご協力でご準備頂いた絵本が芝生の公園と見事にマッチして、素敵な空間を演出して下さいました。

秋の公園も似合うだろうなあと今からワクワクしております。



開催したイベント

5/22 (日) 10:00 ~ 17:00

「まちライブラリー@猿とモルターレ発 猿とBOOK PICNIC」

来館者(概数)

イベント参加： 30人～

紹介された本

「にんじんのにんにん」ふるや かおる／作 アリス館

「こんたのおつかい」田中 友佳子／作・絵 徳間書店

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階視聴覚室

(オーナー/担当者：中村 道彦)



(コメント)

第一部のバトル本番では、初参戦者が優勝経験者を押しつけて優勝するという快挙を達成し、盛り上がりました。

第二部の座談会では、紹介本を囲んで楽しくお話し会ができました。そのワキアイアイな雰囲気の中、理想の図書館について語り合うなど、有意義な時間となりました。



開催したイベント

5/29 (日) 13:00 ~ 15:00

「ビブリオバトル岸和田 春の陣 2022」

来館者 (概数)

イベント参加： 7人

紹介された本

「きらきらひかる」	江國香織/著	(新潮社)
「学びなおし中学・高校の数学」		(ニュートンプレス)
「白川静さんに学ぶ漢字は楽しい」	白川 静/監修、小山 鉄郎/編	(共同通信社)
「白川静さんに学ぶ漢字は怖い」	小山 鉄郎/著	(共同通信社)

ライブラリー名 まちライブラリー@岸和田としょかん

【場所】図書館本館 3階視聴覚室

(オーナー／担当者：領家 誠)

(コメント)



本日は、私のほか、4人の方の参加者から、コロナ禍の中、読んだ本についてもちより、コロナ禍での過ごし方、本の感想を述べあい、話を進めていきました。

・2年前のコロナ、発生時の公共施設の対応、とりわけ岸和田市立図書館では、当初から本の貸出しだけは継続したとのことで、その後、他の公立図書館にも広がったそうです。

・個人事業主の方は、仕事環境の激変があったことや社会課題を投書して過ごしていることなど近況報告がありました。

・感染された参加者からは、「なるべく落ち込まないような本」を選んで過ごしたエピソードも披露されました。

・コロナ禍で、時間の使われ方が一変し、本との向き合い方にも変化があったようですが、ステイホーム期間にこそ、本が傍らにあるという存在が改めて意識されたのかもしれないと思いました。

開催したイベント

5/29 (日) 15:00 ~ 17:00

「コロナ禍で出会った一冊の本 ~ホンノチカラを語る会~」

来館者(概数)

イベント参加： 5人

紹介された本

「達人伝」 王欣太/著 双葉社

「熊取六人組」 細見 周/著 岩波書店

「モダンタイムス 上・下」 伊坂 幸太郎/著 講談社

「探偵倶楽部」 東野 圭吾/著 角川書店

「ガリレオの苦悩」 東野 圭吾/著 文藝春秋

「煙か土か食べ物」 舞城 王太郎/著 講談社

「首都感染」 高嶋 哲夫/著 講談社

「首都崩壊」 高嶋 哲夫/著 講談社

「日本の地方政府」 曾我 謙悟/著 中央公論新社